健康経営の推進

基本方針

当社は、従業員が安全・安心な職場で、心身共に健康で働けるよう、健康経営宣言を策定致しました。
また、従業員の健康保持・増進を推進するため、様々な施策を順次進めてまいります。

健康経営宣言

　住友電工デバイス・イノベーション株式会社では、技術を創造し、変革を生み出し絶えざる成長に努め、自己実現を可能にする、生き生きとした企業風土を育む経営理念のもと、従業員は、会社が持続的に発展し社会へ貢献するために欠かせぬ存在と考えております。
　従業員とそのご家族がいつまでも健康で過ごせることを第一優先として、当社は、従業員とそのご家族も含め健康意識を向上させる活動や、疾病予防と健康増進を支援し、健康経営を推進してまいります。

2022年10月1日
代表取締役社長

長谷川裕一

３つの重点対策

1. 社員や家族の健康増進活動への支援
   （ロコモ*1の予防、健康寿命の延伸）

2. 生活習慣病対策
   （禁煙・節酒運動の推進、メタボ*2の予防・改善）

3. メンタルヘルス対策
   （4つのケア*3とメンタルヘルス体制の構築）

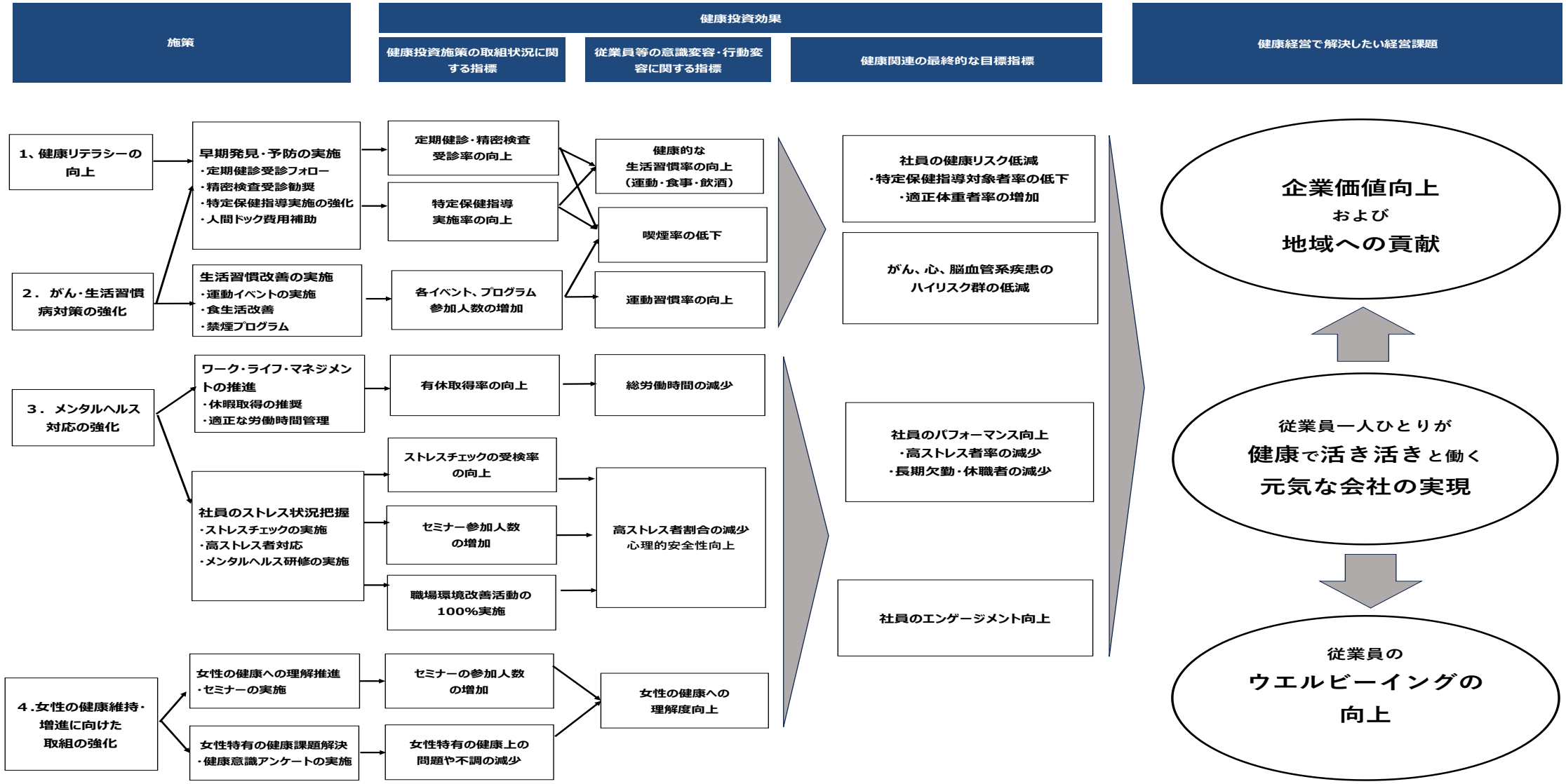
*1 ロコモティブシンドローム（和名：運動器症候群）の略。
筋肉、骨、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、もしくは複数に障害がおき、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態

*2 メタボリックシンドローム（和名：代謝症候群）の略。
内臓脂肪型肥満（内臓肥満・腹部肥満）に高血糖・高血圧・脂質異常症のうち2つ以上を合併した状態

*3 社員一人ひとりによる「セルフケア」、会社の管理職による「ラインケア」、「事業所内の産業保健スタッフによるケア」、社外の「専門機関によるケア」。

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

【健康経営 戦略マップ】


施策
健康投資効果
健康投資施策の取組状況に関する指標
従業員等の意識変容・行動変容に関する指標
健康関連の最終的な目標指標
健康経営で解決したい経営課題
1、健康リテラシーの向上
2．がん・生活習慣病対策の強化
3．メンタルヘルス対応の強化
4.女性の健康維持・増進に向けた取組の強化
早期発見・予防の実施
・定期健診受診フォロー
・精密検査受診勧奨
・特定保健指導実施の強化
・人間ドック費用補助
生活習慣改善の実施
・運動イベントの実施
・食生活改善
・禁煙プログラム
ワーク・ライフ・マネジメントの推進
・休暇取得の推奨
・適正な労働時間管理
社員のストレス状況把握
・ストレスチェックの実施
・高ストレス者対応
・メンタルヘルス研修の実施
女性の健康への理解推進
・セミナーの実施
女性特有の健康課題解決
・健康意識アンケートの実施
定期健診・精密検査受診率の向上
特定保健指導実施率の向上
各イベント、プログラム参加人数の増加
有休取得率の向上
ストレスチェックの受検率の向上
セミナー参加人数の増加
職場環境改善活動の100%実施
セミナーの参加人数の増加
女性特有の健康上の問題や不調の減少
健康的な生活習慣率の向上（運動・食事・飲酒）
喫煙率の低下
運動習慣率の向上
総労働時間の減少
高ストレス者割合の減少
心理的安全性向上
女性の健康への理解度向上
社員の健康リスク低減
・特定保健指導対象者率の低下
・適正体重者率の増加
がん、心、脳血管系疾患のハイリスク群の低減
社員のパフォーマンス向上
・高ストレス者率の減少
・長期欠勤・休職者の減少
社員のエンゲージメント向上
企業価値向上
および
地域への貢献
従業員一人ひとりが
健康で活き活きと働く
元気な会社の実現
従業員の
ウエルビーイングの
向上

主な取組み

従業員の健康維持・増進を目的に、様々な取り組みを行っています。

- メタボ予防・改善への取組
  メタボ予防や該当者の減少を目指し、各種セミナーの開催や特定保健指導を実施しています。運動習慣づくり・食生活改善・がん予防など様々な面から生活習慣の見直し・改善にアプローチしています。

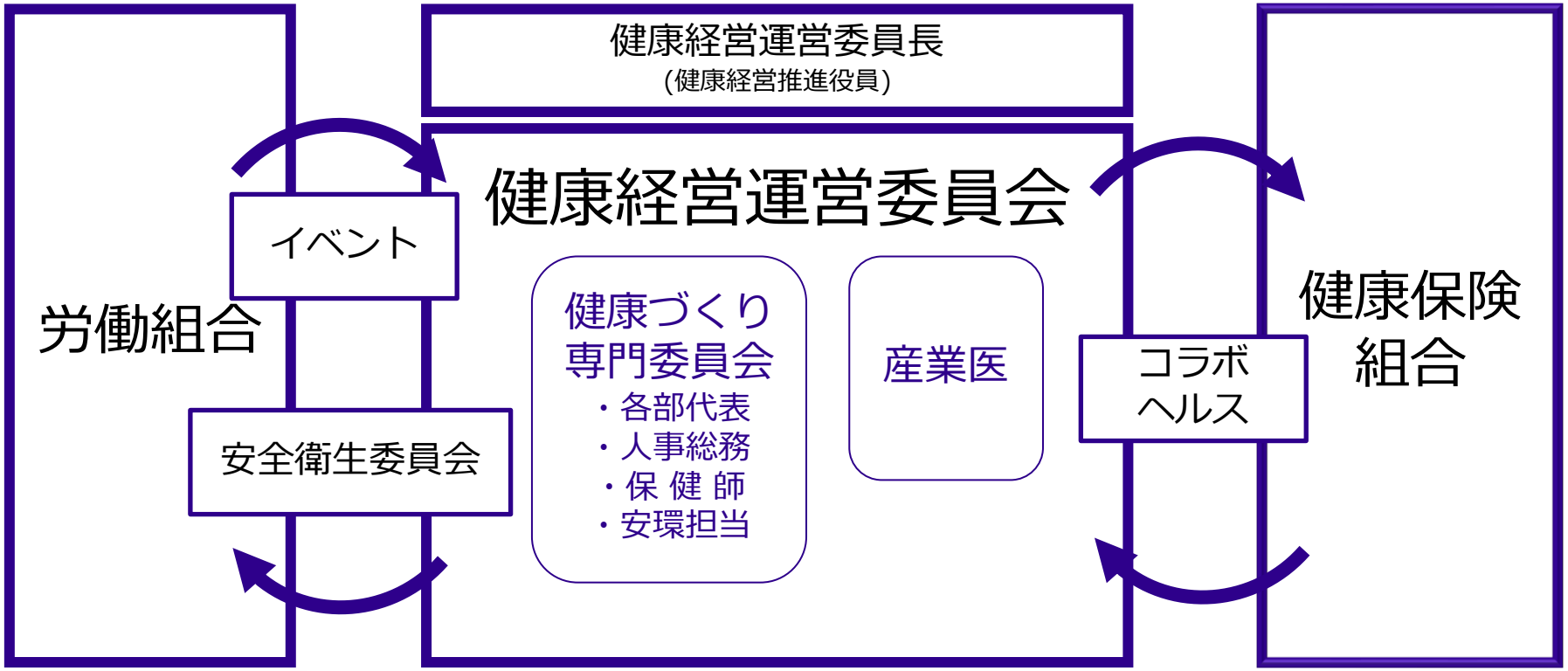
- スポーツ振興
  社員・家族および地域の方々のスポーツ振興や運動習慣化などを目的に、SEI主催のスポーツ大会「SEIチャレンジカップ」に合同参加やSEDI独自の「健康ふれあいウォーキング」のスポーツ大会や、スポーツ教室(「バトミントン教室」）を開催しています。
  福利厚生制度としてスポーツ用品の購入補助等も行っています。

- メンタルヘルスケア
  年に1回、セルフケア・ラインケア研修を行っています。ストレスチェックの結果を踏まえた職場環境改善活動を実施し、より働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。また、カウンセラーを社内外に配置し、社員や家族が相談出来る体制を整えています。

- 受動喫煙防止
  屋内喫煙所を閉鎖し、禁煙奨励日の設定や禁煙奨励セミナーを継続し、受動喫煙のない職場を目指します。

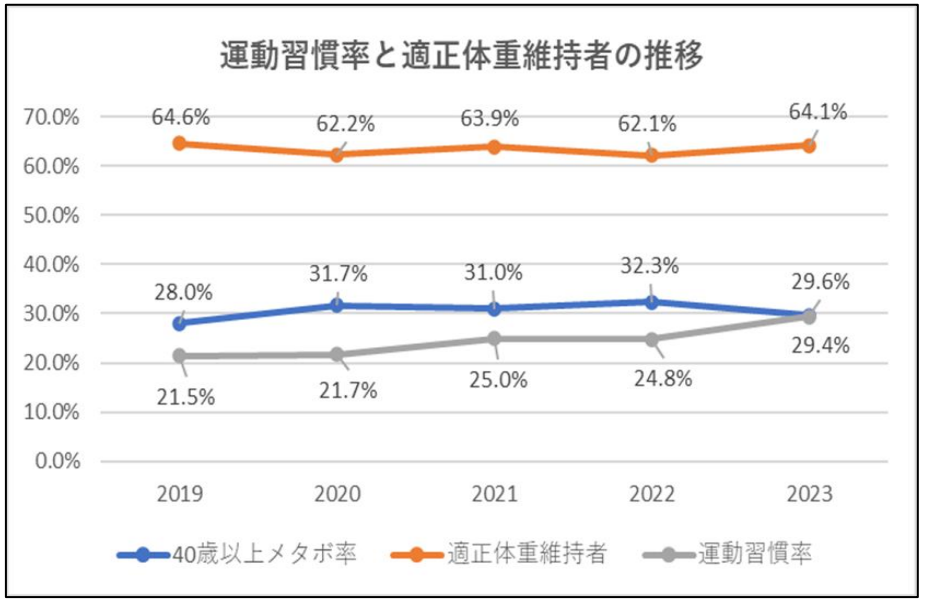
推進体制

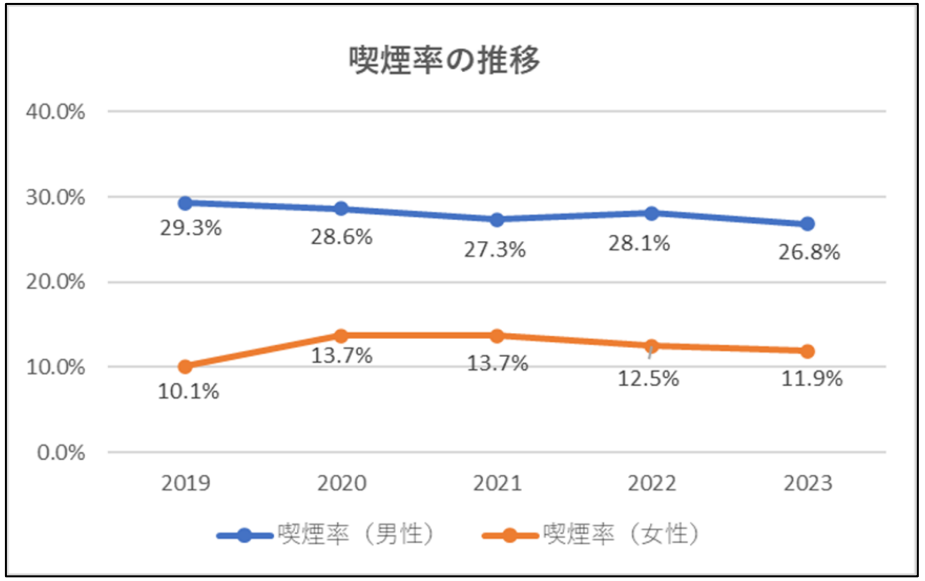
- 役員を委員長とした**健康経営運営委員会**を設置し、活動の方針や施策について審議・決定を行う。
- 住友電工健康保険組合と共にコラボヘルス会議を随時開催し、健康保険組合の保険事業と連携させながら、コラボヘルスを推進する。
- 労働組合とも連動し、安全衛生委員会、健康づくり専門委員会を通して健康経営リテラシー向上を図る。



【目標と実績】

項目	2019年	2020年	2021年	2022年	**2023年**	目標（2025年）
40歳以上メタボ率	28.0%	31.7%	31.0%	32.3%	**29.6%**	29%
適正体重維持者（BMI18.5～25未満）	64.6%	62.2%	63.9%	62.1%	**64.1%**	64.9%
運動習慣率	21.5%	21.7%	25.0%	24.8%	**29.4%**	40%
喫煙率（男性）	29.3%	28.6%	27.3%	28.1%	**26.8%**	22%
喫煙率（女性）	10.1%	13.7%	13.7%	12.5%	**11.9%**	4.5%
健康リスク120以上の部署			5.7%	5.7%	**5.1%**	4.8%
高ストレス者率			12.8%	13.5%	**11.7%**	10%
平均所定外労働時間			17.6間時	17.3時間	**16.0時間**	17.0時間（2024年目標）
平均有給休暇取得日数			15.3日	16.8日	**17.7日**	18.0日（2024年目標）





【その他の指標】

項目	実績値（2022年）	実績値（2023年）
定期健康診断受診率	100%	100%
ストレスチェック受検率	96.9%	96.2%
定期健康診断精密検査実施率	100%	100%
血圧の治療率＊	89.1%	85.6%
傷病による欠勤、休職の割合	1.6%	1.4%
傷病休業制度の利用日数の全従業員平均	2.6日	2.0日
ワークエンゲージメント（ユトレヒト・ワークエンゲージメント尺度超短縮版）	ー	2.81点
KENPOS（健康応援サイト）の登録率	81.2%	91.8%
離職の状況	1.9%	2.0%
労働災害度数率／強度率	0.42／0.02	0.00／0.00

＊血圧の治療率：要治療者のうち治療中の者の割合

プレゼンティーイズム（Wfun）

回答者数	986人			
	Wfun得点	人数	割合	参考割合
問題なし	7～13点	591	59.9	50～60%
軽度の労働機能障害	14～20点	264	26.8	20～30%
中等度の労働機能障害	21～27点	109	11.1	10～15%
高度の労働機能障害	28～35点	22	2.2	2～8%

事業所診断

1. 問題なし（13点以下）の労働者が50%以上である。
2. 中等度と高度を会わせて（21～35点）、20%以下である
3. 高度（28点以上）が10%以下である。

1. 59.9	○
2. 13.3	○
3. 2.2	○

A判定

【その他の指標：イベント】

<2024.11.1現在>

イベント名（2023年度）	参加率	満足度
SEIチャレンジカップ	7.8%	—
バトミントン教室（2回/年）	2.5%	100%
ヨガ風ストレッチ教室	2.6%	100%
構内ウォーキング（2回/年）	24.3%	—
inbody測定会＆運動教室（2回/年）	9.2%	—
ふらばーるバレー大会	15.9%	—
体力チェック	95.4%	—
健康ふれあいウォーキング（2回/年）	3.1%	—

イベント名（2024年度）	参加率	満足度
SEIチャレンジカップ	11.5%	—
バトミントン教室（2回/年）	3.7%	100%
構内ウォーキング（2回/年）	18.6%	—
inbody測定会＆運動教室（2回/年）	4.7%	100%
スポーツ大会（モルック、ボッチャ、キックベースボール）	12.8%	—
ふらばーるバレー大会	15.3%	—
健康ふれあいウォーキング（2回/年）	3.3%	—
ミッドエクササイズ＆リズムヨガ（2回/年）	4.5%	100%
体力チェック		
陸上教室		

住友電工
デバイス・イノベーション

SUMITOMO
ELECTRIC
GROUP